

取扱説明書 E113JM イルミコンソールトレイ

※EXEAは星光産業株式会社の登録商標です。
※本製品は当社オリジナルの製品であり、ライセンス商品ではありません。
※Jimny（ジムニー）、SIERRA（シエラ）はスズキ株式会社の登録商標です。
※この製品は日本国内で企画され、中国で製造されたものです。
※この製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。
※iPhone・iPadは、Apple Inc.の商標です。
※iPhone・iPadについてのご質問は機器の取扱説明書にしたがってください。
※Androidは、Google Inc.の商標です。
※Quick Chargeは、Qualcomm Inc.の商標です。
※その他、本紙に記載されている商標は、各社の商標または登録商標です。
※接続する機器についてのご質問は各メーカーへお問い合わせください。

製品に関するお問い合わせは**星光産業サービスセンター**へどうぞ
TEL(048)984-1290(直通)
月曜日~金曜日(祝日を除く) 9:00~12:00 13:00~17:00

星光産業の新製品情報や
役立つ情報などが満載
星光産業株式会社ホームページ
https://www.seikosangyo.co.jp



クルマにもっと自分らしさ……
星光産業株式会社
SEIKOSANGYO CO., LTD.
〒342-0043 埼玉県吉川市小松川 561-1
JAA/MA 全国自動車用品工業会会員

この度は本製品をお買い求め頂きまして誠にありがとうございます。
この取扱説明書を最後までお読み頂いた上でお取付けご使用ください。
本紙は保管してください。

お買い求めの前に

- 本製品は、スズキ Jimny(JB64W系)/Jimny SIERRA(JB74W系)の専用品です。
- ※本製品は、調査日2024年12月現在の車種に適合します。調査日以降にマイナーチェンジした車には使用できない場合があります。
- ※本製品は車種専用ですが、製品や車種の個体差により、多少のガタツキが発生する場合があります。

「本製品とUSB機器に関する注意と警告」

△注 意

- 本製品をご使用の際、車両側に使用前との差異が生じた場合の損害（破損・キズ・変色・色移りなど）は弊社ではその責任・補償を負いかねます。
- 助手席を前方へスライドするときは、必ずドリンクホルダーの収納物（ドリンクやスマホなど）を取出した状態でおこなってください。
- 収納ドリンクの形状により、サイドブレーキレバーを下ろすときやシフト操作時に手があたる場合がありますのでご注意ください。
- トレイ部への収納物は、サイドブレーキレバーなどの操作や機能を妨げないことをご確認のうえ収納してください。操作や機能が妨げられると非常に危険ですので絶対におやめください。（図-1）
- 配線する際、シートレールなどへのはさみ込みにご注意ください。
- ドリンクホルダーに収納できるドリンクのサイズはφ72mm までです。
- ※収納可能サイズ以下であっても、形状によっては安定しない場合がありますので必ずご確認のうえご使用ください。不安定な物は絶対に収納しないでください。
- 収納サイズを超えるドリンクは転倒、破損するおそれがありますので入れないでください。
- 安全のため以下のようなドリンクは収納をおやめください。
 - ※フタの無いカップやボトル、ガラスや陶器などの割れる危険があるカップやボトル。
 - ドリンクをドリンクホルダー内に放置しないでください。炎天下の車内では破裂するおそれがあります。
 - 悪路や急ハンドルは、収納物が飛び出すおそれがありますので十分ご注意ください。
 - ライターなどの可燃物の収納は危険ですので絶対におやめください。
 - LEDの発光色・輝度には個体差があり、バラツキが出る場合があります。
- 本製品のLED は交換できません。
- 本製品にはUSBのケーブル類は付属しません。
- ※接続される機器の純正か、それに準ずるケーブルをご用意ください。
- ※機器に合わないケーブルを使用した場合は充電時間が延びたり充電ができない場合があります。
- ※充電時間は機器により純正充電器より長くなる可能性があります。
- ※満充電完了後は必ず本製品から機器を外してください。
- ※機器によっては完全放電状態では充電できない場合があります。その場合は純正充電器をご使用ください。
- ※Apple製品の充電は純正ケーブル(Apple認証品を含む)を使用してください。
- 本製品に挿したUSBプラグを抜く際は、製品本体を手で押さえておこなってください。（図-2）
- 本製品に挿したUSBのコードは、シフトやサイドブレーキレバーなどの操作や機能を妨げないようにしてください。（図-2）
- スマホなどのOSのソフトウェアバージョンアップにより充電できなくなる可能性があります。

- ご使用の前に接続される機器の取扱説明書を熟読し、本製品との適合をご確認の上ご使用ください。適合しない場合や適合が不明な機器への接続は絶対におやめください。
- 本製品を使用中、カーオーディオやハンズフリーにノイズが発生する場合があります。
- 車両のバッテリー保護および電流の安定供給のため、必ずエンジンをかけた状態でご使用ください。
- コンピュータ用USBハブを繋げた配線は絶対におこなわないでください。本体や接続機器の破損、火災の原因になります。（図-3）
- 接続前に接続機器の電源が「OFF」になっているか必ずご確認ください。接続機器の電源を「ON」のままエンジンを開始すると故障の原因になります。（図-4）
- 本製品は電子部品を使用していますので、水滴・ほこりの侵入および落下などの衝撃は破損・故障の原因となりますのでご注意ください。
- また、本製品は防水加工されていないので車外(屋外)の使用はおやめください。
- 接続機器の充電完了時間は、機器本体および電池パックなどの条件により異なります。
- 接続機器は必ず電池パックを取付けた状態で本製品に接続してください。接続機器の故障・破損・データ消失の原因となります。
- 本台紙記載のご注意に従わない場合や、誤った取付け・分解・改造をされた際の事故・故障・損害については弊社では一切その責任を負いかねます。

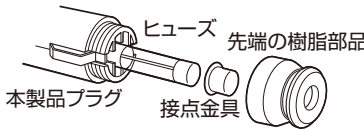
△警 告

- 本製品にパソコンなどのUSB端子接続は絶対におこなわないでください。
- 必ず接続機器の消費電力が適合しているかご確認ください。
- 本製品のUSB端子口やプラグ部などに指定外の端子や金属を接触させたりすると、感電や故障、火災の原因となります。
- ご使用中に本製品と接続機器などに（電池パックの発熱・発煙・ショートなど）異常が発生した場合は、直ちにご使用をおやめください。
- 本製品による接続機器の破損・消失（携帯電話などのメモリー・データ）に関して、弊社は責任を負いません。
- ※USB接続機器のバックアップをとっておいてください。

内蔵ヒューズの交換方法

本製品プラグ先端の樹脂部品をまわすとイラストのように分解できます。
切れたヒューズを交換して元に戻してください。

※5Aを超えるヒューズは絶対に入れないでください。
※ヒューズが切れる原因はショート・容量オーバーなどが考えられます。原因を解消してから再度ヒューズ内蔵プラグをご使用ください。

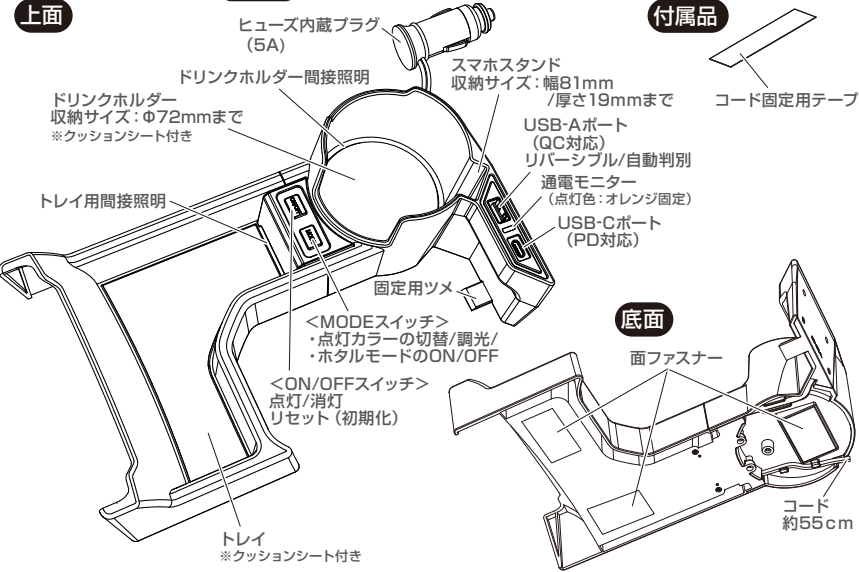


USBの自動判別について

- 本製品はApple iOS機器(iPhone・iPadなど)とAndroid OS機器(スマホ/タブレット)を自動で判別し、それぞれに最適な電流を供給することで充電時間を短縮します。
- ※ケーブルもしくは充電条件が合わない機器を接続した場合は最適な電流値で充電ができません。

製品と充電について

〈各部の機能と名称〉 (図-5)



〈充電について〉

- 本製品に接続できる最大許容電力は製品仕様（定格）を確認してください。【参考:消費電流算出法/A(電流)=W(電力)÷V(電圧)、W(電力)=A(電流)×V(電圧)】
- ご使用時にUSBの通電モニターが消えて充電がおこなわれなくなった場合は、内部基板の高温化により安全装置が働いておりましてのご使用をおやめください。お使いのUSB機器の消費電力量のご確認をお願いします。消費電力量が超えていない場合は、基板温度が下がり通電モニターが点けば、ご使用が可能となります。数分たっても通電モニターが点かない場合は故障のおそれがありますので、ご使用をおやめください。（図-5）

製品仕様（定格）	
電源電圧	DC12V
最大許容電力	30W
C(PD) 単独 ※2	出力電圧/電流 5V/3A,9V/3A,12V/2.5A
	最大許容電流(電力) 3A (30W)
A(QC) 単独 ※1	出力電圧/電流 5V~12V(可変)/可変
	最大許容電流(電力) 3A (30W)
A+C 同時	出力電圧/電流 合計5V/3.5A
	最大許容電流(電力) 合計3.5A (17.5W)

※1：QC=Quick Charge ※2：PD=Power Delivery

製品の取付けについて

〈取付け前に〉

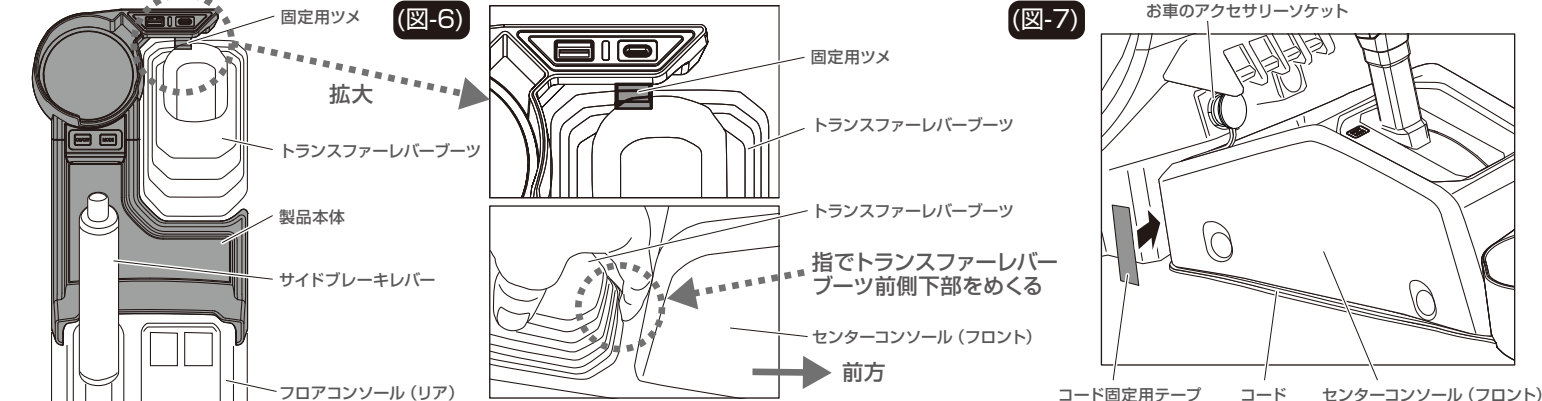
- お車を安全な場所に停車させ、サイドブレーキレバーを引き上げて確実にブレーキをかけてください。
- お車のアクセサリソケットに本製品のヒューズ内蔵プラグを挿し込み、エンジンをかけて本製品の通電モニターと間接照明の点灯を確認してください。
- ※点灯しない場合は本製品の故障の疑いがありますので、ご使用をおやめください。

〈取付け方法〉

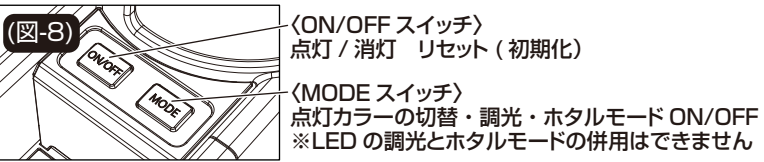
- 1.トランスファーレバーブーツの前側下部に本製品の固定用ツメをはさんで、フロアコンソール(リア)に本製品の後部を合わせ、取付けの位置を決めます。（図-6）
- ※固定用ツメをはさむ際は、トランスファーレバーブーツを指でめくって挿し込んでください。（図-6）
- 2.本製品上部から底面の面ファスナーの位置を押してください。（図-5）
- 3.お車のアクセサリソケットに本製品のヒューズ内蔵プラグを挿し込みます。（図-7）

AT車のみ

- （図-7）のように本製品のコードを車両部品に沿ってはわせ、付属品のコード固定用テープでコードがはみ出さないように固定してください。
- ※コード固定用テープを貼る部分の汚れ・ホコリ・油分などを中性洗剤でよく落としてください。
- ※貼付け場所の素材が中性洗剤で拭いても変質しないか、お車の説明書や自動車メーカーへの問い合わせなどで必ずご確認ください。



イルミネーション機能について(ドリンクホルダー/トレイの間接照明)



点灯カラーの切替

- 〈MODEスイッチ〉をシングルクリックして固定色を切替えます。（図-8）点灯カラーが赤に切替った後、再び〈MODEスイッチ〉を押すと、8色のグラデーション（自動切替）点灯になります。再び固定色に切替えたい場合は、再度〈MODEスイッチ〉を押すと、点灯カラーが白に戻ります。
- ※LEDの発光色・輝度には個体差があり、バラツキが出る場合があります。
- ※本製品はRGB:赤(Red)、緑(Green)、青(Blue)で発光するフルカラーLEDを使用しています。LEDの特性で光源からの距離によって分光する場合があります。



ご使用前に

- 最初にイルミネーションを設定する前には、工場出荷状態にリセット（初期化）してください。
- ※リセット(初期化)は、〈ON/OFFスイッチ〉を2秒以上長押ししてください。間接照明が白色点灯になります。（図-8）
- ※設定後は、メモリー機能により前回の設定で点灯します。

LED調光(明るさ調整)

- 〈MODEスイッチ〉を長押しすると、明るくしたり暗くしたり、明るさを自由に調整できます。（図-8）
- ※スイッチを放した時の明るさで固定します。

ホタルモードのON/OFF

固定点灯 ↔ ホタルモード

- ホタルモードとは、蛍のように「ふわっと点き、ふわっと消える」光り方です。
- ※ホタルモード時はLEDの調光はできません。
- 〈MODEスイッチ〉をダブルクリックすると、ホタルモードのON/OFFを切替えます。（図-8）
- ※ホタルモードの時にシングルクリックをすると、ホタルモードの状態から点灯カラー切替ができます。
- ※8色のグラデーション（自動切替）時のホタルモードも可能です。